

恵み あるうちに

長岡キリスト恵み教会だより第109号
(2018年2月発行)



日々の生活の中で、ふと空しさを覚えることはありませんか？
愛する家族に囲まれ、健康にも恵まれて、いるにもかかわらず、心にぽっかりと穴が空いているような、そんな思いを味わうことがないでしょうか？
充実した毎日を送りたい、心満たされた日々でありたいと誰でも願っています。
神様のことばである聖書には、神様が人間に与えてくださる尊い救いが語られています。
どなたでも、心を開いて聖書の語る救いを求めるならば、神様は救いの道を示され、あなたをお救いくださいます。
「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」
(イエス・キリスト)

特別伝道集会のお知らせ

日時：2月 24日(土)午後 2:00～
午後 7:30～
25日(日)午前 10:30～
午後 7:30～
26日(月)午前 10:30～



講師：山本 啓之 師 (岡崎恵みキリスト教会 牧師)

場所：長岡キリスト恵み教会

京都府長岡京市長岡一丁目 2-6
Tel/Fax 075(955)4582

ホームページ：<http://megumi-church.com/nagaoka>

※すべて入場無料です。お気軽にお越しください。



定例集会

一日曜日	
日曜学校	am 9:00～
礼拝	am 10:30～
中高生クラス	pm 2:00～
聖書学び会	pm 6:00～
一水曜日	
婦人会	am 10:00～
ジョイクラス (中高生祈り会)	pm 5:30～
祈り会	pm 7:30～
一土曜日	
聖書学び会	pm 3:00～
聖書学び会	pm 7:30～



当教会は、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理研)、末日聖徒イエス・キリスト教会(モルモン教)等とは一切関係がありません。これらの団体でお悩みの方は、是非ご連絡下さい。

「空の空。伝道者は言う。空の空。すべては空。」

日の下でどんなに労苦しても、

それが人に何の益になるだろうか。」

(旧約聖書 伝道者の書)

この言葉は、今から約三千年前に、イスラエルの王ソロモンによって語られました。彼は晩年、自らの人生を振り返ってこのように告白したのです。

ソロモンは、彼の父ダビデ王からイスラエル王国を譲り受け、四十年間イスラエルを統治しました。この間、王国は平和が保たれ、イスラエルの人々は、王国の豊かな繁栄にあずかることができました。王国の繁栄はソロモンが外国との貿易

易を盛んに行ったためです。イスラエルには毎年六六六タラント(約二二トン)もの純金が入って来ました。銀は、石ころのように見なされた聖書に記されています。ソロモン王は、外国との貿易を行うために、相手国の王女を妻として迎え入れ、親戚関係を築きました。彼には実に七百人の妻たちと三百人の側室がいました。

ソロモン王は、非常に聡明で三千もの知恵の言葉、千五百の歌を残しています。彼の知恵と知識を聞くために、外国から人々がやってくる程でした。彼の知恵は生涯彼から離れませんでした。名声、富、権威、権力と彼が手に入れることのないものは何一つありませんでした。

ところが、ソロモン王が手に入れた全てのものは、

彼の心を満たすことは出来ませんでした。彼は、むしろこれらのものの空しさを訴えているのです。彼は、「見よ。すべては空しく、風を追うようなものだ。日の下には何一つ益になるものはない。」と告白しています。



ソロモン王が生涯を費やして蓄えた富と財宝は、彼の死後、エジプトによって奪われてしまいました。彼が外国から娶った妻たちはイスラエルに恐ろしい人身犠牲の宗教をもたらし、人々はそれらの宗教を積極的に取り入れ行うようになっていました。さらに大いなる悲劇は、ソロモン王が死ぬとイスラエル王国は北と南の二つの国々に分裂してしまっただけです。ソロモン

王が空しいと訴えていたすべてのものは、彼の死と共に失われてしまい、二つに分裂してしまっただけで、何の益ももたらすことが出来ませんでした。

さて、ソロモン王が告白した空しいものは、今も同様に空しさを覚えさせるのです。豊かで、健康な日々を何一つ不自由なく生活している方々が、「毎日が空しいです。」「この年齢になっても、まだ生きる目的がわからない。」と言われることをしばしば聞くことがあります。

人の心を真に満たし、日々喜びに満たされて生きるためには、一体何が必要でしょうか。このことを知るために、まず、この世のものでは、心の平安を得られないと悟ることが大切です。また、この世のものを追求することが誤りである

ことを認めなければなりません。

聖書は、人間を含めた天地万物が神様によって創造されたことを教えています。人間には造られた目的があるのです。人間を特別に愛される神様を心から敬い、神様と愛の交わりを持つこと、これが人間の生きる目的なのです。神様との日々の交わりによって、人の心は真の喜びと平安に満たされます。



実に悲しいことですが、ほとんどの人々が人間を造られた神様を無視し、背を向けて、この世の富、快楽、名声を求めて生きています。聖書は人々のこの生き方を罪であると指摘しています。罪とは的外れの人生を生きることであるのです。

地獄からの救い

神様は、聖く正しい方です。人間の罪を悲しんでおられます。そればかりではありません。神様は罪を憎んでおられるのです。人が犯罪を犯せば、法律に従って裁かれるように、人間の神様に対する罪は、神様によって裁かれなければなりません。

「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている。」

(新約聖書 ヘブル書)

死後の地獄が存在します。火といおうの燃える罪の裁きの世界です。地獄での裁きは永遠に続きます。

神様は、人々が死後の地獄で永遠に裁かれることを願ってはおりません。神様は、人々がこの地獄に行

かないように、すばらしい救いの道を備えてくださいました。

神様は今から二千年程前に、ご自身の御子イエスキリストをこの世に遣わしてくださいました。そして、主イエスを全人類の身代わり十字架に付けて、人間の罪を背負わせ、御子を処罰なさったのです。主イエスの十字架の死によって、人間の罪の問題は完全に解決されました。

復活された主イエス

主イエスは、死後、墓に葬られました。しかし、死後三日目に主イエスは死の力を打ち破り、肉体をもって復活されました。主イエスを納めた墓は現存しますが、その中に遺体はありません。当時、十二弟子をはじめ、五百人以上の人々に

復活された主イエスが現れてくださいました。主イエスは復活されて四十日後に弟子達の目の前で天に昇って行かれました。この主イエスこそ、まことの神様、地獄ではなく天国へ導き入れてくださる唯一の救い主であられます。

どうぞ、罪を悔い改めて、主イエスをあなたの救い主、神様と信じ受け入れてください。主イエスは、あなたの罪を赦してください、あなたを天国に入れてくださいます。

主イエスを心に迎え入れることによって、真の平安と喜びを味わうことが出来るのです。

